



行發日一十月一 定価一ヶ月五円六ヶ月十円一年二十円 電話一七三三番

### 心の依所を與へよ

安田 白牛

「承前」  
「然しそれがいふのか?」  
「いや、悪いもの以外に仕  
方がないではないかと云よ  
の現貨者の聲である  
けれども、世にこれだけ  
て全く常識人の知らぬ満足  
のある世界があるのだ。そ  
れは「求めよ、然らば與  
へられん」と西哲は云つ  
た。

### 春宵

喜多村涼子

農村に於ては如何にして  
それを求めるか? 別に特  
種の設備を要することはな  
い。窓は遠望する、そして  
人は各自の寺へ行き、そ  
こには祖先から與へられた  
宗教家がそれを解決  
して行く。道は近きにあ  
り、遠くに求める必要は  
少ない。而してその自  
分の寺の住職であらざる  
時はその紹介で今一步上  
の寺へ行き、向々足らぬ  
人は本山修行し、その間  
は必ず自分を満たして  
吾人があるに相違ない。

### 氷雨抄

松本 千秋

○窓の外に氷雨降る音の幽なりこ、旅宿は淋し  
かりけり  
○茶店にて友持き他びてしばらく氷雨にぬれ  
し跡道見て居つ  
○夕灯り仄明るき橋の上を氷雨に濡れて人の行  
きかよ  
○向い山白し、雪の積り居て、山里は風静か  
なる  
『雪の山中に』  
梅 津 雅 美  
○山に住む男はかくもやさしく雪にまどへる  
吾をいたはる

### 超現實童話 の道德的否

西崎源三郎

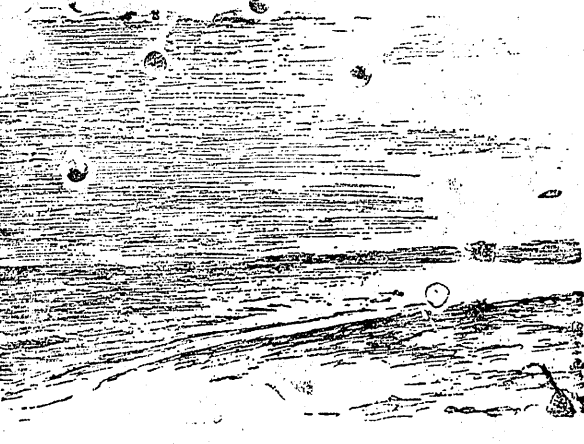
子供は超現實的童話に取  
扱はれてゐる。云々、  
「超現實的童話」は、  
「超現實的童話」は、  
「超現實的童話」は、

### 友部株式

株一様あり、債券一様あり、株式買収システム。  
電話一七三三番

### 高橋是清

昭和三十二年選挙は然し何  
處から見ても名實共に異  
非常時を表現した異議を  
公債の累積に依つて次第  
に飽和状態に到達しつつあ  
る事を示し始めてある。金融  
市場に非常時を控へての危  
大なる軍部の国防要求との  
間の矛盾を如何に調節する  
かといふ事に就いては、清  
の態度は世の注目の的とな  
されてゐた。



△法律新聞一月五日論  
説、判決時報、年頭所感  
隨筆、當年、法曹、大  
審院刑事判例等滿載(一)  
部稅共計五厘、東京市  
日本橋區本町四ノ五ノ五  
其社  
△始めて紙幣を發行す  
月12日(建武元)△島原亂  
和蘭船原城を砲撃  
(寛永一五)△ベネチア  
チ生る(一、七四)△櫻  
島の大爆發(大正三)

### 連日満員御禮

豪華なサロン  
新たな設備!  
御同伴で御商談  
御都合に  
御食事  
喫茶  
小宴会  
グリル  
カツカス  
電七〇二

### 高島屋洋装

今冬の流行物  
澤山入荷致しました  
高島屋洋装店  
平町二丁目電話三八六番

### 共済病院

院長 醫學博士 久喜部谷長  
平町一四六番

### 冬のサロ

食事、喫茶、酒場を兼ねた  
男給の店  
平町・電三五二

### 根本産科醫院

根本 貞雄  
電話三四番

### 平牛乳舎

第一質品  
番八六二話電  
平牛乳舎  
平町・九品寺前

### 魚屋

御進物には  
鰹節  
高島屋洋装店  
平町二丁目電話三八六番

### 波難醫院

内科  
小児科  
入院 應需  
自炊の便あり  
電話五〇二番  
平町大町  
士博學醫 陸 波 難

### 吉田眼科醫院

醫學士 吉田 久雄  
平町紺屋町電話六八番

### お醤油は...

味噌醤油  
たひら正宗  
山崎合名會社  
電話(營業部)一〇番  
電話(本店)二七番  
明治生命會社代理店 山崎與三郎

### 正札堂洋服店

「君の服を  
求めたね...」  
「リレ...」  
正札堂  
東京で一番のライオン印  
をお召し下さい。  
平町車場通 電話四三六番

### 磐城の御みやげ品

靈峰羊羹 金十錢  
柿羊羹のり羊羹。  
沼ノ内辨天羊羹。  
御座のお出入には好個のお土産品です。  
小賣部希望の方お申し下さい。  
小川 郷 前  
製造費賣元  
平屋賣店

### 新築落成

大衆奉仕を 念願とし社會中尉  
としてやよひ館の名の下に營業を開始致し  
ました。  
眺望並に清新...の気分にて於て他  
れを越するに適當な處と存じます。  
室貸を主とし、經營致します故御  
がた望みに依り差上げる設備もあります  
何卒御引立の程を願ひます。  
平町車場通(電七六番)  
やよひ館

### 刃織田材木商店

建築業、建築業、建築業  
建築業、建築業、建築業  
刃織田材木商店  
電話平四六〇番

### 天井板、ベニヤ板買ふなら

確かに御期待に添ふ良品廉價の  
刃織田材木商店へ  
電話平四六〇番

町村長會に希望
町の昔から云ひ古され
た事か、既に葦の立つた陣
庭極まる言葉ではあるが
所謂一年の計は元旦にあ
りての語に一面の真理あり
とせば、蓋し単り自然人は
かりて無く更に法人にも而
して公法人たる自治團體に
も直に移して以て當て極め
得る金言であらうと思ふ即
ち各町村の事業計劃も其の
新春の初頭に於て籌算考査
宜しきを修らさず、須らく自
町村民の福祉を増進開拓す
べく最も重大なる關心を拂
へねばならぬと思ふ。之
の觀點よりすると、本年々々
繰り返さるる新年勞働の町
村長會が時節柄さらだに
疲弊した胃の肺に負擔を加
重する懇親宴會が殆ど第一
義的であり、他は略ね豫算
決算のお座なり議談である
事は決して自治團體首腦者
の顔合せなる容易に得難い
絶好の機會を最も効果的に
收穫する所以で無いと思ふ
之の意味から若し夫れ事情
が許すならば、徒に夢の國
に遊ぶが如き高遠なる理想
的問題よりとも宜しく大
地に立脚せる實際問題に即
した而も各自治團體共通の
研究的議論を豫め準備し、
當日之を持ち寄つて大に継
續擴張するか宴席の酒歌を
談話に隔意無き意見の交換
を行ふなどが、年一度僅々
三杯停車場線三澤線、水
運等の會合として、よも有
意義ならしむるものでは無
いかと思ふ、敢て諸公の清
監に懸る所以である

愛のブロード
菊地寛の「娘遺本」に詠
われた文句であるが、異
性から愛のブロードを受
ければ受ける程相手の娘は
拂然として横を向くもので
ある。さうな、お預りをさ
いた上斷じて現場を動かさ
ないのが習性である。と云
ふ但俗にも一押しと云ふ事
あるが其は根本に幾分の可
能性のある場合であるであ
つて之を考慮の外に置いた粘
りは一寸どうかと思はれる
平町と平津との合併は或は
既に時期の問題であるかは
知れぬが、この機微を察へ
ずには進ずる事は決して策
の得たるものではあるまい

町村長會に希望
一つ、既に葦の立つた陣
庭極まる言葉ではあるが
所謂一年の計は元旦にあ
りての語に一面の真理あり
とせば、蓋し単り自然人は
かりて無く更に法人にも而
して公法人たる自治團體に
も直に移して以て當て極め
得る金言であらうと思ふ即
ち各町村の事業計劃も其の
新春の初頭に於て籌算考査
宜しきを修らさず、須らく自
町村民の福祉を増進開拓す
べく最も重大なる關心を拂
へねばならぬと思ふ。之
の觀點よりすると、本年々々
繰り返さるる新年勞働の町
村長會が時節柄さらだに
疲弊した胃の肺に負擔を加
重する懇親宴會が殆ど第一
義的であり、他は略ね豫算
決算のお座なり議談である
事は決して自治團體首腦者
の顔合せなる容易に得難い
絶好の機會を最も効果的に
收穫する所以で無いと思ふ
之の意味から若し夫れ事情
が許すならば、徒に夢の國
に遊ぶが如き高遠なる理想
の問題よりとも宜しく大
地に立脚せる實際問題に即
した而も各自治團體共通の
研究的議論を豫め準備し、
當日之を持ち寄つて大に継
續擴張するか宴席の酒歌を
談話に隔意無き意見の交換
を行ふなどが、年一度僅々
三杯停車場線三澤線、水
運等の會合として、よも有
意義ならしむるものでは無
いかと思ふ、敢て諸公の清
監に懸る所以である

開眼有望の盲人
正式発表さる
平町で十一名に折紙
平町で十一名に折紙
平町で十一名に折紙
平町で十一名に折紙

親子間に限ること
山田村の廢止申合せ
山田村の廢止申合せ
山田村の廢止申合せ
山田村の廢止申合せ

改修を叫ぶ、郡下の主要路線
郡下の主要路線
郡下の主要路線
郡下の主要路線

殖える納税組合
現在平町に百組
現在平町に百組
現在平町に百組
現在平町に百組

手術費用約六十圓
手術費用約六十圓
手術費用約六十圓
手術費用約六十圓

短刀を揮つて
刑事に斬りかゝる
刑事に斬りかゝる
刑事に斬りかゝる

福島から上野へ
悪の無銭旅行
悪の無銭旅行
悪の無銭旅行
悪の無銭旅行

提灯の置忘れから
小川で一棟丸焼け
小川で一棟丸焼け
小川で一棟丸焼け
小川で一棟丸焼け

亡師の恩を偲ぶ
高槻忠致氏頌德碑除幕式
高槻忠致氏頌德碑除幕式
高槻忠致氏頌德碑除幕式
高槻忠致氏頌德碑除幕式

鮮人博徒八名検
今朝平署の手入れ
今朝平署の手入れ
今朝平署の手入れ
今朝平署の手入れ

映書常設館
入場者大増
入場者大増
入場者大増
入場者大増

書道展入選
平町関係の五名
平町関係の五名
平町関係の五名
平町関係の五名

愈々開業!!
小料理 翠
小料理 翠
小料理 翠
小料理 翠

東京丸和家具百貨店
出張販賣部
出張販賣部
出張販賣部
出張販賣部

ハシモトヤ系店
電話一四番
電話一四番
電話一四番
電話一四番

高速編物機
日本大婦人雜誌
日本大婦人雜誌
日本大婦人雜誌
日本大婦人雜誌